



図書館だより

ほくと 85 号
八王子北高校図書館
2025 年 1 月

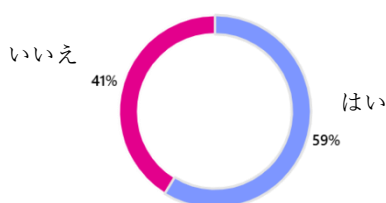
あけましておめでとうございます。
新年を迎えると、日常の延長だと分かりつつ、なぜかほんのちょっぴり
あたたかい気持ちになりますね。
みなさんにとって、かけがえのない一年になりますように。
どうぞ本年もよろしくお願い致します。



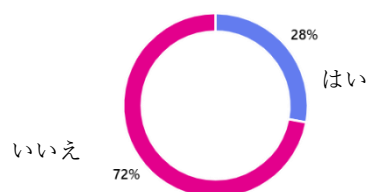
図書館利用アンケート結果

ふむふむ…利用したい！図書館楽しい！そう思ってもらえるよう
進化していきます！ご協力ありがとうございました！！

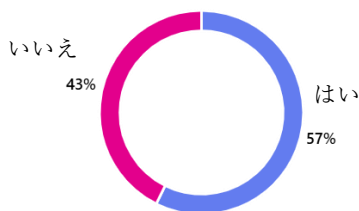
1：今年（2024年）図書館を利用しましたか？



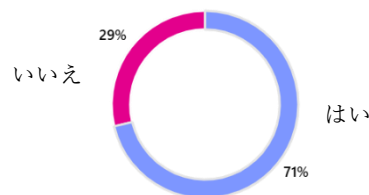
2：図書館を利用した際、本を借りたことはありますか？



3：今後、利用してみたいと思いますか？



4：図書館に、漫画があることを知っていますか？



展示コーナー「一追悼一谷川俊太郎」

2024 年 11 月、人生の幕を下ろした谷川俊太郎。

日本を代表する詩人であり、翻訳家・絵本作家
としても数多くの作品を世に残した。

小学生の時、「スイミー」や「生きる」を学んだ方も多
いのではないのでしょうか。

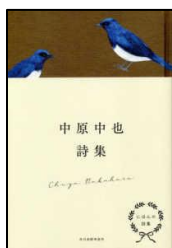
その他に、ハウルの動く城の主題歌も手がけていたこと、
私も初めて知りました。

柔らかく、優しい世界を感じてみてください。



代表的な詩人さんも
一緒に紹介しています！

実写映画2月公開





—新 着 図 書—



『架空犯』 東野圭吾著



これぞ東野圭吾！
と言われる本作品。
本の帯には「誰にでも青春があった。被害者にも犯人にも、そして刑事にも」とその表現に偽り無しという内容です。

『小鳥とリムジン』 小川糸著



苦しい環境にあり、人を信頼することをあきらめ、自分の人生すら諦めていた主人公が、かけがえない人達と出逢うことで自らの心と体を取り戻していく。

『人魚が逃げた』 青山美智子著



SNS 上で「人魚が逃げた」という言葉がトレンド入りした。どうやら「王子」と名乗る謎の青年が街をさまよい歩き「僕の人魚がいなくなった」と語っている。

『箱根駅伝今昔物語』 日本テレビ著



歴史ある駅伝。昔は箱根の道を提灯で照らしたとか、戦争中の話とか。最近の話題。
1つの事に打ち込んだ中からのエピソードは熱くなれます。

『君はどう生きるか』 鴻上尚史著



現代は、一人一人がそれぞれ違う「君」の時代。この楽しくもしんどい多様性の時代に必要なのは、自分の頭で考えると言う事。そのためのアドバイスが満載。

『韓国語 1 年生』 ハングルノート加藤著



韓国語を勉強したいと思ったら、はじめに読む本。一つ一つ分かりやすく解説され、「読む、書く、聞く、話す」の基本がみつきます。



ハン・ガンさんって知ってますか？

去年、アジア人で女性初のノーベル文学賞を受賞した作家です。代表的な作品を紹介します！ちなみに日本では川端康成・大江健三郎の二人がノーベル文学賞の受賞者です。



『すべての、
白いものたちの』



『ギリシャ語の時間』

「保育士」を目指す皆さんへ

保育士の仕事の内容や、子どもたちとの触れ合い方等アドバイス満載の本です！



今月のお知らせ

返却期限は守ろう！

手元に貸出中の本はありませんか？

三年生は登校日が限られます！

要注意！

三年生は 2 月3日(月)までに必ず返却してください！ -----

蔵書点検について

1 月28日(火)～30 日(木)

蔵書点検のため、原則図書館は閉館

貸出不可

ご不便おかけしますが、よろしくお願い致します。

何かございましたら司書までご相談下さい。

